

# 一人ひとりの学力・学習状況は 全国学力・学習状況調査より

4月18日に全国一斉に行われた、小学6年生と中学3年生対象の全国学力学習状況調査（全国学力テスト）の結果について結果や考察をまとめましたので、そこから分かる本校の実態と今後の授業改善についてお知らせします。

## 小学6年生

	結果と課題	今後の授業改善に向けて
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均と比較して、やや下回る。</li> <li>・高得点の児童は平均より多いが、低得点の児童も平均より多く定着度に差が見られる。</li> <li>・「話す・聞く能力」は全国平均より高いが、「読む能力」「言語についての知識・理解」は低い傾向が見られる。</li> <li>・語り合いや発言などで自分の思いを表現することはできるが、文脈の理解や質問の意図を聞いて答えたり書きまとめたりすることに課題が見られる。文脈や意図を理解する上での語彙力や構成力にも課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定着度の差が大きいため、スモールステップでの課題設定や選択型の学習の検討を進める。また、個別に指導する時間を設けながら、基礎基本の定着と共に、構成力や要約力の伸長に努める。</li> <li>○話す力の高さを生かし、話す人の意図や要点を意識した話し合いを行う。また、物語や説明文の読み取りの場面で、視点を明確にしたりポイントを示したりした活動を通して、読む力の伸長を図る。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均とほぼ同じ。定着度の高低差が国語より大きい。「図形」は全国平均と比較して大きく上回る。「数と計算」「数量関係」はやや下回る。</li> <li>・短答形式や記述形式の得点が低い傾向が見られる。関係図からの立式や適切に加減を使った計算が低い。</li> <li>・基本的な計算にミスが多く、図やグラフを読み取り、絵図や質問の意図を理解して正しく立式して計算することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の定着、計算力の定着を図るため、個別の指導や基本的計算問題等に取り組む復習の時間をより多く確保していく。</li> <li>○国語と同様で、図やグラフ、絵図が表していることや質問の意図を理解できるように発問を精選し、質問の意図を自ら考えさせるような場面づくりを進める。</li> <li>○立式の意図や計算の過程を理解しやすいよう板書すると共に、文章で答える記述式の問題にも取り組む。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分によいところがある」「将来の夢や目標がある」などは全国平均を大きく上回り、意欲的に生活できていることがわかる。その反面、「学校に行くのが楽しい」「自分で計画して勉強している」は、全国平均を下回った。国語も算数も学習は必要だと感じている児童は多いが、「好き」と答えた児童は少ない。</li> <li>・学習形態について、「話し合っ決めて、協力して取り組む」「話し合いを通して自分の考えを深めたり広げたりすることができている」が、全国平均を大きく上回った。</li> <li>・地域行事への参加意欲が全国平均よりかなり高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己肯定感は比較的高い傾向にあるが、学びに対しての意欲は高くない。意欲の高まりを期待して、将来の自分をイメージしながら今何を学ぶ必要があるかを意識づけていく。</li> <li>○必要感のある学習や認め合う人間関係を持続させながら、児童が意欲的に取り組めるように、成功体験を味わえるような授業構成を検討していく。</li> <li>○地域との関わりに意欲的な面が顕著に見られ、今後も地域と連携した活動や学びの場の設定を進める。</li> </ul>

## 中学3年生

	結果と課題	今後の授業改善に向けて
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均よりやや高い。なかでも、「書くこと」「書く能力」が全国平均を大きく上回っている。単元後半に課題やテーマを明確にした条件作文を書く活動に取り組んできたことで、作文を書くことに抵抗感が少なくなったことも影響していると考える。</li> <li>・言語についての知識・理解・技能も全国平均と比較して高い傾向が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○選択肢の問題で誤答や空欄が見られた。問題文を正しく読めていなかったり、読むことに時間がかかったりしていると考えられる。読み取り方についての指導を多くしていく。</li> <li>○話し合いや手紙の書き方などにやや低い傾向が見られた。生活に生かせる場面で、実際に話し合ったり手紙を書いたりする機会を増やす指導を進める。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均よりやや高い。なかでも「数学的な見方・考え方」は比較的高い傾向にある。日頃の授業で、互いの考えを伝え合う活動を積極的に取り入れている効果がうかがえる。</li> <li>・「図形」の証明や「記述式回答」についても高い傾向にあり、フローチャートを用いて証明の組み立て方を学んだことで、論理的に物事を考えて組み立てていく思考力が伸びているものと思われる。</li> <li>・「数と式」は低い傾向にあり、基本的な計算力に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題は2年次に学習する連立方程式である。誤答の傾向を見ると、計算ミスではなく計算方法自体を理解していないことが分かった。このことから、何を問われ、どのように立式して解いていったらよいかを明確にして、どの手法を用いればよいのかを授業の中で重点的に指導していく必要がある。</li> <li>○連立方程式は夏休みをまたぐ単元であり、夏休み前後や夏休み中の家庭学習や課題配分について工夫していくようにする。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニング問題の短い英文のやりとりについては、全国平均とほぼ同じかそれ以上である。</li> <li>・「書くこと」については低い傾向。語数指定のある英作文の問題に大きな課題が見られ、主語や動詞、目的語などの語順に注意して作文することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英作文は、スピーキングに比べて文法面で正確性が重要視される。主語や動詞、目的語などの語順に注意できるよう作文するときポイントを示して語順を意識させていく。</li> <li>○自分の気持ちや伝えたい内容を、語数の少ない文章で繰り返し書く時間を確保していく。</li> <li>○言語活動の「スモールトーク」で、テーマに沿って話す活動を継続して英語活用力を高めていく。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「計画的に勉強している」割合は、全国平均より高い値となっているが、学習時間について「2時間以上」の生徒の割合が全国平均より30%以上低い状況にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的に学習できていることを認めながら、家庭での学習の時間確保について指導を進める。また、よりよい家庭学習（課題の出し方、取り組み方）についても検討を進める。</li> </ul>

これらの実態から、本校では、話す力や表現する力、論理的な思考について伸びていることがうかがえます。その力がさらに光るように、書く力・読みとる力などを中心に教科学習や各教育活動の経験的な学びで力をつけられるよう、継続的に授業改善に努めます。



